

研究機関名：東北大学

受付番号： 2012-1-1
研究課題名 FDG-PET/CT における FDG 集積の経時的変動とその要因
研究期間 西暦 2012 年 4 月（倫理委員会承認後）－ 2013 年 3 月
対象材料 <input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名） <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input checked="" type="checkbox"/> その他（PET/CT 画像、診療情報）
上記材料の採取期間 西暦 2006 年 7 月－ 2012 年 3 月
意義、目的 FDG-PET/CT 検査は悪性腫瘍の診断に有用で、同一の患者さんに月ないし年単位で継続的に複数回行われることがあります。悪性腫瘍を原因としない異常所見が出現して悪性腫瘍の再発や転移との鑑別が必要になる場合があります。炎症などでも FDG 集積増強による異常所見が認められ、臓器によっては FDG 集積の変動もみられることが知られているものの、悪性腫瘍との区別が容易でない場合があります。一方で、非典型的な再発が他疾患との鑑別を要する場合があります。本研究により、悪性腫瘍診断のために行われる FDG-PET/CT 検査において、悪性腫瘍と異なる病態がどのような異常所見を生じ、悪性腫瘍との鑑別に資する所見は何かという知見を提供できることが期待されます。
方法 2006 年 7 月から 2012 年 3 月までに東北大学病院内で複数回の FDG-PET/CT 検査を受けた患者さんの画像データと臨床データを収集します。複数回の FDG-PET/CT 検査の経過中に FDG の集積増強を指摘された者を抽出、そこから、悪性腫瘍の再発・転移ではなかった者、および良性疾患を疑ったが悪性腫瘍の再発・転移であった者を選択します。収集したデータは連結不可能匿名化を行い、その後の解析は匿名化された形で行います。得られた画像データに対して、関連する他疾患合併の種類、身長・体重や血糖値、炎症性疾患の状態、悪性腫瘍治療終了後の期間などの診療情報との関連を検討します。
問い合わせ・苦情等の窓口 東北大学加齢医学研究所機能画像医学研究分野（東北大学病院加齢核医学科） Tel: 022-717-8559（担当）井上 健太郎